

もりふれ倶楽部通信 NO. 64

《たけ》のこと

NPO 法人もりふれ倶楽部
理事長 野々村俊成



およそ 20 年ほど前のこと、週末の土・日プラス有給休暇を利用して、車で山陽・四国方面に出かけた。

急ぎの旅行でもなく、例によって食事や、休憩をかねて途中の道の駅、直売所などに入り、観光マップで探したり、またカーナビが親切なおせっかいで「近くに〇〇(名所旧跡の名称)」があります」などと教えてくれたところに立ち寄ったりした。

最近というか、ここ 10 年ほど、あまり遠方には出かけなくなったのは、定まった仕事から解放され、日常の生活のリズムが大きく変わったこと、それにより気分転換とか、リフレッシュをしなければならない程の緊張感と責任感などがやや緩めになったこともあると思う。

さて、文頭のドライブの時のこと、季節はいつの頃だったのか思い出せないのだが、その日は広島県の三次辺りが昼食の時機になるかと、美味しそうな店を探しながら走っていたが、三次の市街は丁度昼食の時間帯と重なり、食事処らしきところはどこも駐車場はいっぱいである。

いつもながら混雑と、待つことが不得意な私たちは「ここもダメだー」と、当然のごとくスルーしたもの、市街からだんだん離れるにつれ、それらしき食事場所が見当たらず、どこまで行けばいいのか?、との思いが空腹と、先刻スルーした店の赤や黄色の看板が脳裏をよぎり、車内にも妙な静けさが続いていたのでした。

「竹工房はなかご」は三次から南下して、芸備線三良坂駅あたりで、国道 184 号を走ると右側に看板が見て取れる。確か看板に「山菜うどん」あるいは、「竹パウダー入り」などと描いてあったような気がするのだが、よく覚えていない、当該施設の宣伝としては誠に心もとない話ではある。

川土手の国道から右に曲がり土手下に降りる、一画に竹が植えられた広い駐車場には車が 1 台もなく、さては定休日かと、でも土曜日で、幟ばたが立ててあるので、営業中であることを願い、ゆっくりと駐車場に入っていった。

20 数年も前のことで、記憶も定かではないのだが、当時は平屋建ての左右に長い建物で、右手がこじんまりとしたレストラン、中央部を含め、左側には多くの民具などが展示されていたように覚えている。

もちろん、こちら左側はテラ見で、食事場所が見つかった安ど感から、さらに空いたお腹と、耐えた頭に何がしかの補填をしなければいけない。右手のレストランで山菜天ぷらと竹パウダー入りうどん、山菜炊き込みご飯まで食したのである。

さて、心身ともに落ち着いたところで、左手の展示スペースへ。施設名にも冠してあるように、なるほどと納得させられるほど、竹を素材とした数多くの工芸品・民具・日用品・おもちゃなどが、所狭しと並び、展示されていた。

覚えているのは、竹を加工した日用品のザル、カゴなどの民具、漁具、カバン、竹ひごのランプシェード、尺八、和笛、竹人形、太い孟宗竹に彫った(描いたトラ多分)置物など、こんなものまで竹で作るの?、と。

竹製品以外の陶器、布製品などもあったように思うものの、なぜかあまりよく覚えていない。

そんな中で、煤竹(すすだけ)で作られた 3 節分の長さの花生けに、無造作に差し込んである数本の風車(かざぐるま)が目にとまった。

許しを得て手に取ってみた、竹のごく薄い平ひごを編んだかわいらしいかざぐるまで、正面から軽く息を吹くと、前の小さいほうのかざぐるまは、右に回り、後ろ側の大きい方は、なんと左に回転する、しかもカサカサと軽い音を立てて。

この一軸二連のかざぐるまの他にも、一つのものや、小型のかわいいものまでがあって、しかも8枚ある風受の羽根には、友禪和紙と思われるきらびやかな色紙が使われている。

初めて目にする作品で、とても精巧にできているようには見えない、しかもよく見ると、平ひごの曲がり具合が少しずれていたり、羽根のそり角度が違っていたりする。まさに手づくりで、少しおしゃれな飾り物といったところか。

そして、ここにある 3 種類のかざぐるまそれぞれを一本づつ買い求め、ようやく遅い昼食と、長い休憩を終えたのである。

ただ、その後の旅行中、このかざぐるま、車の中のどこに置こうか、となり、重ねられない、横にできない(羽根が歪みそう)。結果旅行カバンの横のファスナーを少し開け、かざぐるまを差し込んだり、テープでガラスに張り付けたりと、また、車の窓を開けたときに、急に元氣よく回りだし、壊れないように慌てて窓を閉めたこともあった。

そして、帰るまでとても気を使った思い出があるわけです。

それから何年か経ったころ、部屋の中のいつもの所に挿してあるかざぐるま、よく見ると小さいほうのかざぐるまの八枚ある羽根の平ひごが 1 本折れて、辛うじて離れずに何とかくっついているという、無残な状態であった。

また、大きいほうのかざぐるま、こちらは風受け羽根の友禪和紙が 1 枚なくなっている、これは多分何かと接触したときに抜け落ちたのだろう、と。

さて、風受け紙の方は 1 枚を補修、あるいは全部をとりかえればいいのだが、折れた羽根をどう直すかと。

さすがに、壊れたほうのかざぐるま、修復は無理だな、と思ったのであるが、我が家に来てからは、狭い居間の、それでも居間の一番映えそうなところに飾られ、しかもそこにあれば壊れにくいという場所(もちろん時々のレイアウトを変えるときは移動したりしていた)にそれはあったから、余計に何とか元の姿を取り戻したかったのである。

さて、本体と、折れてしまった長さ 2 センチ、巾 2 ミリ、厚さ 0.2 ミリほどの竹ひごを見つめ、それでもと、瞬間接着剤で、無駄な抵抗を試みたのはいうまでもなく、試した自分を少し悲しく思ったのである。

羽根が折れ、「修理ができないのだったら処分したら…」 「そろそろ片付けてよ、みっともないから…」、などと冷やかな声がかときき聞こえていたのだが、誰が、いつ、どうしたら壊れたか、などの原因究明は野暮で、勝手に推測するしかなかった。まあ形あるものはいつか壊れる、との故事もあることで…

処分できないのは、あの時の記憶、その後の日常のなかで何気なく目にし、また手に取って回してみたりしていたから愛着がある。、決して童心に帰ったわけでもないのだが、カラカラとなんとも心地よい音がする…。

それ故、仮に処分し、無くなってしまうと、あのときの楽しかった思い出を忘れてしまいそうなこと、また、このかざぐるま、日常のちょっと楽しく遊べるおもちゃであり、飾り物としても素朴で何故か懐かしい存在であること。

最近では、いわゆる里山と呼ばれる、生まれ育った山間の町では、1950年代までどこの家にも竹を使った日用品がたくさんあって、それぞれの家で作ったり、手内職で作る人から買ったり、年に一度の鎮守の祭りに、農耕具、刃物など、もちろん子供たちが楽しみにしている露天商のお店と並んで、それぞれの産地から来て販売していた。

その中に、竹の加工品を主に並べた店も1~2店あって、ザル、カゴ、ソーキ、巻きス、熊手、ほうき、背中に背負う大きな葺かご、手かごは今でいうエコバックか。

まだある、当時三度の食事のとき、白ごはんは都度かまどで炊くのだが、家族人数分に足りるように多少多めに炊くので余ることになる。今でこそ食品は冷蔵庫で管理できるが、当時の特に夏場は、食べ物の管理に気を遣わなければならなかった。大切な主食を腐らせるわけにはいかない、そこで、工夫して保存できるように、竹を編んでつくった飯かごに広げて入れ、家の中の涼しいところに吊り下げてあった。

とうふを買いに行くときは、豆腐専用の蓋つきのカゴがあり、水が滴るので身体を傾けながら、崩れないように急いで家に帰ったことも懐かしい思い出である。

こうして思い出せば、当時の生活の中に竹素材の生活用具が多くあり、竹用のナタなどもほかの多くの道具類と一緒にあったのを覚えている。

ただ、当時我が家で作ったものはあまりなくて、そのほとんどはお祭りとか、そういえば行商の人が、身体に多くの竹製品を付けて訪ねてきたこともあって、おそらくそうしたところからも入手したのかと想像する。

さて、竹のかざぐるまを自分で作ってみようと思ったのは、いつも目にし、手に取って回したりしていたのだが、特に難しい技術でもなさそうで、さらにネットで検索したところ、何とか出来そう、とハードルがかなり下がり、また材料も工具も手、に入りそうだ、いうことで早速取り掛かった、材料づくりのポイントは、いかに正確に平ひごを作るかである、と。

家にあるのを見本とし、ネット情報から、マダケを加工するのであるが、なかなか難しい、巾と厚さが均一にならないのだ。

難しいから工夫する、このようなことは、暇と、好奇心から。自分では割と苦にならない思うし、むしろ楽しんでやる方だと思っている。巾決め、厚さ決めの治具を試行錯誤で何とか作り、暇と根性から、曲りなりにも「竹のかざぐるま」らしきものが出来、なんと、くるくると心地よい音まで立てて回ってくれたのである、もちろん風受け羽根に使った友禅和紙と称する美しい和紙、ネットで調達した時期は、本体ができる半年も前のことであつたように思う。

ネットで購入なんて、簡単に、すぐにでき、しかも明日着くのですね、かざぐるま作成と比較することではないですが。

竹の特性を生かした物作り、まだまだ試行錯誤の最中、機会があればまた記すことにいたします。先日、庇(ひさし)の下に置いていたダストボックス、中にあるはずの鉢土を出そうと蓋に触ったところ、指にねずみ色のプラスチックと思われる素材の粉末が、ふしぎな触感で付いたのである。一連の作業を終えて手を洗ったが、考えると、あの風化したプラ粉末は？その何万倍もあろうボックスはどうなるのかと…。

何百年も存在し、そしていつか土に戻る竹と、数年、数十年で形はなくなるものの、土に還ることのできないものがあまりにも多いことに悲しい気持ちになった次第です。

一年半にも及ぶ新型コロナ、罹患しないよう、十二分に対策を取り、自分と、周りの人に安心と安全！ン？

良く見聞きするフレーズ。これしかないのか、と思いますが、やはり一番大事かと。

そして暑い夏、と予報されています、ご自愛のほどお過ごしを。

(結)

コメントの追加 [y野1]:

令和3年度 もいふれ倶楽部の歩み

4月17日（土）第1回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第1回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

4月23日（金）緑の少年団出前講座1（吉田中学校）

雲南市立吉田中学校全校生徒27名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として「森林保全」の講義を行いました。

4月26日（月）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校環境福祉コース3年生40名に対して、「島根県の自然環境についての講義」と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



4月30日（金）緑の少年団出前講座2（志学中学校）

大田市立志学中学校全校生徒11名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全」の話と「ネイチャーゲーム」・「和紙作り」の指導を行いました。



5月4日（火）松江市楽山再生イベント

松江市公園緑地課の委託事業の中で、市民緑化活動普及啓発事業「楽山再生」普及啓発イベント「楽山公園でタケノコ堀りボランティアと竹筒ご飯を楽しむ」を参加者41名で実施しました。



5月6日（木）緑の少年団出前講座3（阿井小学校）

奥出雲町立阿井小学校5・6年生20名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話と森林体験」の指導を行いました。



5月7日（金）緑の少年団出前講座4（吉田小学校）

雲南市立吉田小学校児童に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、1・2年生11名に「森の話と木切れ工作」3・4年生7名に「森林保全の話とネイチャーゲーム」5・6年生8名に「森林保全の話と飾り炭」の指導を行いました。



5月8日（土）第2回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第2回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

5月9日（日）第1回里山自然塾

島根県主催の第1回里山自然塾「プレ植樹祭特別企画～木を切って・使って・植えよう！」を参加者20名で実施しました。ヘルメットを装着し現地へ移動して、伐倒体験と植樹体験をしてもらいました。その後島根県で取り組まれている循環型林業の話をし、午後は竹を使ってバームクーヘン作りの体験、竹に生地を塗り、熾火で数回繰り返して焼いてもらいました。竹から出来上がったバームクーヘンの取り外し方も指導しました。



5月11日（火）緑の少年団出前講座5（赤屋小学校）

安来市立赤屋小学校児童に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として1・2年生3名に「森の話とネイチャーゲーム」3・4年生12名に「タケの話と森林作業体験」5・6年生7名に「島根の人工林の話と森林作業体験」の指導を行いました。



5月12日（水）緑の少年団出前講座6（口羽小学校）

邑南町立口羽小学校児童に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、3～6年生15名に「森林保全の話」1～6年生24名に「川の学習」の指導を行いました。

5月13日（木）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校環境福祉コース3年生40名に「島根県の林業と担い手の状況」と竹を使った工作「竹とんぼ」の指導を行いました。



5月13日（木）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校児童に対して「学校林を活用した森林環境教育促進事業」として、1年生4名と2年生6名計10名に「森林講座～もりでみつけよう」と「木の葉を使ったネイチャージャン」の指導を行いました。

5月14日（金）緑の少年団出前講座7（玉湯学園）

松江市立玉湯学園9年生58名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として「森林保全の話とネイチャージャン」の指導を行いました。



5月16日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座 「竹筒で炊いたけのご飯とバームクーヘン作り」を県民の森木工室において、参加者23名で実施しました。

5月17日（月）緑の少年団出前講座8（赤名小学校）

飯南町立赤名小学校5年生11名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として「森林保全の話とネイチャージャン」の指導を行いました。

5月18日（火）緑の少年団出前講座9（赤来中学校）

飯南町立赤来中学校1年生22名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として「森林保全の講義」を行いました。

5月18日（火）みーもスクール 第1回西小学校

雲南市立西小学校4年生21名に対して、第1回みーもスクールとして「森林作業体験～学校林での間伐・枝打ち等の体験」の指導を行いました。



5月19日（水）緑の少年団出前講座10（朝波小学校）

大田市立朝波小学校児童に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、1、2年生23名に「森の話と木切れ工作」3年生13名に「森林保全の話と樹木観察」4年生16名に「森林保全の話と飾り炭」の指導を行いました。

5月20日（木）緑の少年団出前講座11（布勢小学校）

奥出雲町立布勢小学校4年生14名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話と和紙作り」の指導を行いました。



5月20日(木) 緑の少年団出前講座12(大社小学校)

出雲市立大社小学校5年生51名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話とネイチャーゲーム」の指導を行いました。



5月25日(火) 緑の少年団出前講座13(都茂小学校)

益田市立都茂小学校児童に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、1, 2年生9名に「森の話とネイチャーゲーム」3, 4年生11名に「森林保全の話と和紙作り」5, 6年生9名に「森森林保全の大切さの話と飾り炭」の指導を行いました。

5月26日(水) 緑の少年団出前講座14(田井小学校)

雲南市立田井小学校3・4年生4名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森の話と川の学習」の指導を行いました。



5月27日(木) 緑の少年団出前講座15(四絡小学校)

出雲市立四絡小学校4年生87名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話とネイチャーゲーム」の指導を行いました。

5月31日(月) 飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校5, 6年生に対して「学校林を活用した森林環境教育促進事業」として「間伐・枝払い体験」と「和紙作り」の指導と「森林保全の話」をしました。



6月2日(水) 緑の少年団出前講座16(福井小学校)

海士町立福井小学校5・6年生16名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話とネイチャーゲーム」・「和紙作り」の指導を行いました。

6月3日(木) 緑の少年団出前講座17(鍋山小学校)

雲南市立鍋山小学校児童に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として1, 2年生18名に「森の話と木切れ工作」3, 4年生17名に「森の話と樹木観察」5, 6年生16名に「川の学習」の指導を行いました。



6月4日(金) みーもスクール 第2回西小学校

雲南市立西小学校4年生21名に対して、第2回みーもスクールとして「野鳥の生態(コウノトリを含む)から森林保全の大切さの話と野鳥観察」の指導を行いました。

6月4日(金) 緑の少年団出前講座18(高尾小学校)

奥出雲町立高尾小学校全校児童6名に対して、「緑の少年団等への出前講座」事業として、森林保全の話とネイチャーゲームの指導を行いました。

6月5日(土) 出雲西高等学校インターアクトクラブ対応

出雲西高等学校インターアクトクラブ1年生に対して「森林・林業体験研修」として、林業作業の必要性の話とチェーンソーの安全な使い方と丸太



切り体験、伐倒のためのロープかけと伐倒体験、枝払い作業、PC ウィンチ集材体験の指導を行いました。

6月7日（月）緑の少年団出前講座19（波佐小学校）

浜田市立波佐小学校5、6年生6名に対して、「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話とネイチャーゲーム」の指導を行いました。



6月9日（水）緑の少年団出前講座20（掛合小学校）

雲南市立掛合小学校3年生15名と4年生17名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、3年生には「森の話と木切れ工作」4年生に「川の学習」の指導を行いました。

6月9日（水）緑の少年団出前講座21（掛合中学校）

雲南市立掛合中学校全校生徒78名に対して、「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の大切さ」の講義を行いました。

6月10日（木）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校3年生40名に「林業体験：間伐体験と集材体験」としてチェーンソーの安全な使い方と取り扱い方の説明の後丸太切りの指導、PC ウィンチの使い方の指導を行いました。



6月11日（金）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校1・2年生3名に対して「緑の少年団促進事業」として、「森の素材でたたき染め」の指導を行いました。

6月12日（土）第3回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第3回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

6月13日（日）第2回里山自然塾

島根県主催の第2回里山自然塾「笹のギフトをどうぞ～笹巻と笹茶」を参加者20名で実施させていただきました。2チームに分かれ、①笹巻の下ごしらえと②ネイチャートレイリングを同時進行し、どのチームも①も②も体験してもらいました。午後からは粉をこね、団子を作り、笹を巻く体験と、炒って煎じた笹茶の試飲をしていただきました。



6月15日（火）緑の少年団出前講座22（八雲中学校）

松江市立八雲中学校1年生57名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「鳥根の森林の話と和紙作り」の指導を行いました。



6月16日（水）松江市立出雲郷保育園対応

松江市立出雲郷保育園の先生13名に対して、葉っぱ遊びに関するレクチャーをネイチャーガイド池田友紀氏の指導で行いました。しずくを

はじく葉っぱを3枚選び、誰の葉がいちばんしずくをはじくのかを競って
もらい、最後にどの葉がいちばんはじいたのか確認しました。

6月29日(火) みーもサマースクール(母衣小学校)

松江市立母衣小学校特別支援学級児童18人に対して、みーもサマースクール「園内散策」「飾り炭」
「焼き火クッキー作り」「ネイチャークラフト」の指導を行いました。

もいふれ倶楽部今後の予定2021 8月～11月

8月7日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班: 森林公園植樹地下刈り
9時50分 ふるさと森林公園学習展示館集合

☆参加者募集中: 1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメッ
ト・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助千円を支給しま
す。場所のわからない方をご相談ください。

8月14日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中: 参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

8月21日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班:
江津東小学校林下刈りと枯損木伐採・片付け
9時50分 江津東小学校駐車場集合

☆参加者募集中: 1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメッ
ト・草刈り機・チェーンソー・鎌
前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給し
ます。場所のわからない方をご相談ください。

8月22日(日) 10時～15時 丸太でイスづくり

☆参加者募集中: 参加費500円 場所: 県民の森木工館
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

8月28日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：出雲商業木育の森下刈り
9時50分 出雲商業木育の森前集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌
前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助 2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月4日(土) 10時～15時、5日(日) 10時～15時 会場：匹見レストパーク
佐藤仁志氏による島根県森林インストラクタースキルアップ研修

研修テーマ「匹見の森で森林と文化について考える」

参加費は500円、昼食は別途弁当を1食1,000円で希望者には準備できます

☆参加者募集中

もりふれ倶楽部会員であれば、島根県森林インストラクターでなくても参加できます。もりふれ倶楽部事務局へお申込みください。島根県森林インストラクターの方は直接しまね森林活動サポートセンターへも申し込めます。電話：050-3533-1695

☆遠方からの参加者は各自宿泊のご手配をお願いします。

9月11日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

9月12日(日) 10時～15時

第5回里山自然塾「里山派バンダナづくり～手入れされた里山林の恵み」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

9月18日(土) 10時～15時

第1回里山生活塾「初心者や初めての方向けの刈払い機実践講座」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～刈払い機と工具(ある方のみ)、飲み物・昼食・雨天時は雨具
定員10名(申し込み順)

9月19日(日) 10時～15時

第2回里山生活塾「目立てからはじめるチェーンソー実践講座」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～チェーンソーと関連工具(無い方はお貸ししますので申込時にその旨、お伝えください。)
飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員10名(申し込み順)

9月20日(月・祝) 10時～15時

第3回里山生活塾「木を安全に無理なく切るためのチェーンソー講座」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～チェーンソーと関連工具(無い方はお貸ししますので申込時にその旨、お伝えください。)
飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員10名(申し込み順)

9月25日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：布部小竹林整備

9時50分 安来市立布部小学校集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・手鋸・鉋

前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

9月26日(日) 10時～12時 樹木医による樹木診断研修 楽山公園 定員30名

☆参加者募集中：参加費無料 集合：9時50分 楽山公園テニスコート下駐車場

(希望者は、午後から近隣の会場で座学の研修も実施予定 参加無料)

10月2日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：楽山公園竹林整備

9時50分 楽山公園野球場駐車場集合

※午後からは、松江環境市民会議のメンバーが加わります。

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・手鋸・鉋

前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

10月3日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：布部小竹林整備

9時50分 安来市立布部小学校集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・手鋸・鉋

前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方のご相談ください。

10月9日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

10月9日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：うぐいす山整備

9時50分 松江市立出雲郷保育園うぐいす山前集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り機・鎌

前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助 2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

10月10日(日) 10時～15時

第6回里山自然塾「自然のキノコ大発見～キノコの見分け方実践講座」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

10月16日(土) 10時～15時 第1回里山生活塾「現地編」秋の恵みを採りにでかける

☆参加者募集中：参加費1,000円(昼食付) 定員10名(申し込み順)

集合：出雲市役所佐田支所駐車場9時30分

10月17日(日) 10時～15時 第2回里山生活塾「現地編」広葉樹伐倒とナメコ生産

☆参加者募集中：参加費1,000円(昼食付) 定員10名(申し込み順)

集合：出雲市役所佐田支所駐車場9時30分

10月24日(日) 9時30分～12時30分「楽山公園秋の自然観察会と竹食器」

☆参加者募集中：参加無料 定員30名(申し込み順)

集合9時20分 テニスコート下駐車場

10月30日(土) 10時～15時、31日(日) 10時～15時 会場：島根県立ふるさと森林公園

島根県森林インストラクタースキルアップ研修

研修テーマ「樹木学習」「里山林の課題と解決方法」

参加費は1,200円(2日目の昼食含む)、初日の昼食は別途弁当を1食1,000円で希望者には準備できます

☆参加者募集中

もりふれ倶楽部会員であれば、島根県森林インストラクターでなくても参加できます。もりふれ倶楽部事務局へお申込みください。島根県森林インストラクターの方は直接しまね森林活動サポートセンターへも申し込みます。電話：050-3533-1695

☆遠方からの参加者は各自宿泊のご手配をお願いします。

11月13日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

11月13日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：楽山公園竹林整備

9時50分 楽山公園野球場駐車場集合

※午後からは、松江環境市民会議のメンバーが加わります。

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェーンソー・手鋸・鉋

前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。



植樹祭に参加した会員とその家族

※第71回全国植樹祭に関して、NPO法人もりふれ倶楽部は島根県緑の循環功労者として島根県知事より表彰されました。

もりふれ倶楽部会報 NO. 64

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>